

☆想像すること 意識すること

先日、神奈川県座間市でたいへん悲しい事件が発生しました。9人の尊い命が奪われました。その中には、県内の女子高生も含まれています。高校1年生でしたので、昨年までは皆さんと同じ中学生だったのです。本当に悲しいことです。

SNS等に関わって犯罪被害に遭う方は年々増加しています。現在では様々な所で、「SNS等を通して知り合った人に会わない」「自分の写真等の個人情報を送らない」など、SNS等の使い方について細心の注意を払うように指導されています。

ずいぶんと昔の話になりますが、まだ携帯電話が無かった頃は、毎日コンビニの公衆電話で妻に電話をしていました。これから帰るとい連絡と「何か買い物はありますか？」という確認をしていました。携帯電話が世の中に出てきてからは、公衆電話を使う面倒は無くなりました。メール機能が使えるようになると、相手が仕事で電話に出られない場合を心配する必要が無くなりました。



世の中はどんどん便利になっています。その反面、使い方を誤ると大変なことになるということも増えました。私たちにとって自動車は無くてはならないものですが、昨年、交通事故で約4,000人の方が亡くなりました。包丁などの刃物も私たちの生活に無くてはならないものですが、使い方を誤れば人が亡くなることもあります。そして、携帯電話やスマートフォン、パソコン等が無ければ、今回のような悲しい事件は起こらなかったのかもしれませんが。

しかし、「世の中を少しでも便利にしよう」「苦勞している人を助けよう」「悲しい思いをしている人たちを救おう」という気持ちが、様々な発明を生み出してきたのです。大切なことは、私たち自身が気を付けることなのです。



スマホやパソコンも正しい使い方をすればたいへん便利なものです。本来ならば、正しい使い方を学び、より良い生活になるために役立てるべきものでしょう。しかし、残念なことに本校でも、まだまだ心配な使い方をしている生徒がいます。皆さんが友だちの心を傷つけたり、皆さん自身が危険なことに巻き込まれたりしないように、本校では、「スマホ等に関する提言」として、以下の3つのことを皆さんにお願いしています。

- ◆持っていない、使っていない生徒はそれを継続する。
- ◆スマホ等を持っている生徒はその所持や利用について「やめる」ことを検討する。できればやめる。
- ◆トラブルの多い「LINE」等は削除、「グループ」は退会する。

皆さんにお願いしたいことは、スマホやSNS等に限らず、「もし、こうしたら、このあとどうなるだろう」ということを考える気持ちです。大切なのは、自分の行動によって何が起ころのか想像する心です。「これをやったら、友だちの心を傷つけるだろうな」と意識することです。いつも他人の気持ちを考えながら行動する心を大切にしてほしいと思います。



もう一度 書き込む前に 確認を！

一度書き込んだ内容は、知らない間に拡散し、
インターネット上にずっと残り続けることもあるのです。
後で消したくなっても、もう取り返しがつきません。
書き込む前に立ち止まって考えてみましょう。

ネット社会の健全な発展に向けた連絡協議会

【参加団体】（一社）安心ネットづくり促進協議会 / （一社）インターネットコンテンツ審査監視機構 / （一社）セーフティーインターネット協会 / （一社）テレコムサービス協会 /
（一社）電気通信事業者協会 / （一社）日本インターネットプロバイダー協会 / （一社）日本ケーブルテレビ連盟 / （一社）モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 /
（一社）モバイル・コンテンツ・フォーラム / （一財）インターネット協会 【協力団体】 情報通信における安心安全推進協議会 【事務局】 （一財）マルチメディア振興センター

後援：総務省 法務省 文部科学省 警察庁

※ 文部科学省も、総務省、法務省、警察庁等と連携して、「秋の一斉行動キャンペーン」を行っています。本校の「スマホ等に関する提言」についても、お子さんと一緒に考える機会を作っていただけるとありがたいです。